

## 橿原市特別職報酬等審議会 5 回目 会議録

- 1 日 時 平成 29 年 1 月 13 日 (金) 午前 10 時から
- 2 場 所 本庁本館 4 階第 1 会議室
- 3 出席者 委員 田中会長、森本委員 (職務代理)  
(50 音順) 喜多委員、島本委員、山中委員、吉田委員、田ノ上委員  
事務局 西田総務部長、中西総務部長心得、吉住人事課課長補佐  
村井田人事課課長補佐兼給与係長 (司会)、辻人事課主査
- 4 傍聴 なし

### (1)開会

### (2)審議

- ・特別職報酬等の答申案の確認について
  - ・今後の特別職報酬等審議会の開催について
- 配布資料の確認

以下の資料について事務局より説明を行う。

資料 1 橿原市特別職の職員の報酬などについて(答申) (案)

〃 2 特別職報酬等審議会の開催状況

### 【質疑応答】

会 長 議題 1 番 答申案について、事務局から説明してほしい。

事 務 局 ～資料 1 について説明～

会 長 前回 (平成 28 年第 1・2 回 農業委員及び農地利用最適化推進委員の報酬について) は答申案について審議しなかったが、今回決定する答申は、私が最終市長に報告する重要なものである。何か意見はないか。

委 員 なし。

会 長 答申案 2 ページの【議長・副議長・議員の報酬について】中段にある「都市部では高水準であるといった圏域による格差の傾向」についてであるが、橿原市は都市部なのか。

事 務 局 類似団体のなかには北海道や沖縄県といった経済バランスが異なる地域が含まれている。また、橿原市は大阪圏内であるという意味である。

会 長 分かった。

また、「奈良県という地域性」とあるが、抽象的な言い方である。はっきりした言い方をしてほしい。

事 務 局 奈良県内で橿原市のように人口規模の大きい奈良市、生駒市、大和郡山市と比較していると言い換える。

会 長 審議会委員の意見として、議員の活動実績が見えない、議員報酬についてははっきりがんばってほしいため下げないと結論を出した、と答申に明記してほしい。

事 務 局 御指摘の件を修正等して答申案を再度作成する。

会 長 議題 2 今後の特別職報酬等審議会の開催について、事務局から説明してほしい。

事務局 ～資料2について説明～

会長 現行の3年に1度開催するというのは分かりやすく比較しやすい。10年前に開催したというのでは、経済状態も変わっているため比較が難しい。  
何か意見はないか。

委員 以前から3年に1度開催していたのか。

事務局 橿原市は大体3年に1度開催してきた。以前は、周りの市や奈良県も3年に1度程度開催していたように思う。

委員 以前は3年に1度定期的には開催していなかったように思う。

事務局 制度が大きく変わるときには随時開催している。

委員 3年に1度開催すると定められているのか。市長が3年に1度定期的に開催を決めているのか。

事務局 条例等で定めていないが、市長が3年に1度定期的に開催を決めている。

橿原市では、使用料条例を3年に1度見直しており、当審議会も3年に1度開催するのが適当であると思う。

会長 それでは、3年に1度開催することを原則とし、社会情勢等を踏まえ必要に応じて随時開催するということでよいか。

委員 異議なし。

事務局 本日御指摘いただいた内容を修正した答申案を再度作成し、各委員に意見を伺い、会長に諮り、後日会長から答申いただきたい。

委員 異議なし。

会長 了解した。

これにて当審議会を終了する。